

Ⅳ 家庭の教育力を高め、地域の教育力を生かす

(8) 家庭の役割と機能を再確認するための方策推進						
22 家庭教育資料等による啓発						
子育て支援に関する情報を提供し、家庭教育・子育てに関する意識啓発やサポートを行います。						
達成指標	朝食を必ず食べる児童生徒の割合 (Ⅲ-(7)の再掲)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		90.7%	90.5%	90.7%	92%	B+
(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(76)家庭教育資料の配布【健全育成課】						
保護者	小学校1年生、5年生、中学校1年生の子どもを持つ保護者に家庭教育資料を配布することにより、子育てのサポートを図る。	750	657	[23年度の評価] 「家庭教育応援します ～親ナビ@低学年版・高学年版・中学生版.ちばし～」を、年度末に学校に配送し、次年度初めに保護者に配布した。(小学校1年生に10,000部、5年生に10,500部、中学校1年生に9,500部を配布) [24年度の実施計画] 同様の事業を行い、小学校1年生・5年に8,500部、中学校1年生に8,200部を配布する予定である。	b	
(77)「子育てハンドブック」の配布【こども企画課】						
保護者	各区役所や保健福祉センター等において「子育てハンドブック」を配布し、子どもに関する保健・福祉などの各種制度を広く紹介することにより、子育てへの支援を図る。	2,700	2,700	[23年度の評価] 「子育てハンドブック」を33,000部を作成し、保健福祉センター等で配布した。 [24年度の実施計画] 引き続き、「子育てハンドブック」を33,000部を作成し、保健福祉センター等で配布予定である。	b	
(78)子育て支援情報紙「いきいき子育て」の配布【こども企画課】						
保護者	乳幼児期から小学生の子どもを持つ保護者等を対象とした子育て支援に関する情報を提供することにより、子育てへの支援を図る。	1,200	1,200	[23年度の評価] 「いきいき子育て」を、10月と24年3月に各88,000部を作成し、保育所や小学校等を通して配布した。 [24年度の実施計画] 引き続き、「いきいき子育て」を年2回、各88,000部を作成し、保育所や小学校等を通して配布予定である。	b	

23 家庭への支援						
家庭の教育力の向上に向け、家庭における子育てについてさまざまな悩みや相談への対応を行います。						
達成指標	子育てサロンが行う子育て相談への参加者数(延べ数)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		2,100人	2,150人	2,200人	2,500人	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(79)地域における家庭教育支援の基盤形成【生涯学習振興課】						
保護者	「家庭教育支援チーム」(※)を中心に、地域で子育て講座や相談活動を実施することにより、子育てへの支援を図る。 (※)家庭教育支援チーム 子育てサポーターや民生委員等の地域の人材で構成されたチーム	521	420	[23年度の評価] 小中台・園生地区にて、子育て親育ち講座の開催・相談活動・広報紙の発行、また、市全域への波及のため、子育てサポータースキルアップ講座及び家庭教育フォーラムを開催した。 [24年度の実施計画] 小中台・園生地区にて、同種の事業を実施する。また、新たな「家庭教育支援チーム」の結成に向けた準備活動を行う。	b	
(80)保育所(園)・幼稚園等における子育て支援の推進【こども企画課/保育運営課/保育支援課】						
保護者	保育所(園)や幼稚園、子育て支援館、地域子育て支援センター、子育てリラックス館などにおいて、子育て親子の交流の場や子育て関連情報の提供、子育てに関する相談を行うことにより、子育て家庭の支援を図る。	[保育支援課所管分] 188,614 (ファミサボ含む) [保育運営課所管分] 24,430	[保育支援課所管分] 187,422 (ファミサボ含む) [保育運営課所管分] 27,230	[23年度の評価] ①子育て支援館(1館)、地域子育て支援センター(7箇所)、子育てリラックス館(10箇所)において、週6日・1日3～8時間、子育て親子の交流の場の提供、子育て関連情報の提供、子育てに関する相談を実施した。 (参考) 来館者数:293,289人(23年度、3月現在) 相談件数:18,445件(23年度、3月現在) ②千葉県幼稚園協会が、「子育て大好き親子教室(年5回。加盟園及び一般市民対象)」及び、「子育て電話相談室(毎週水曜日。加盟園及び一般市民対象)」を実施している。 ③市内すべての認可保育所(園)109か所において、施設の所在する地域に住む異なる年齢の子どもたちとの交流の機会を設けたり、保護者などへの育児講座を開催したり、地域における子育てを支援する地域活動事業を実施する。また、関係機関と連携し、すべての保育所(園)において、子育てに関する情報収集及び提供、相談活動を実施した。 [24年度の実施計画] これらの事業を引き続き実施する。なお、事業を実施する保育所(園)については、民間保育園の拡充に合わせ、全116か所とする予定である。 ※ 地域の実情に応じ、例えば、在籍児童らと地域高齢者の交流活動として実施される場合もあり、左記予算額はこれらを含むものとなっている。	b	
(80-2)幼稚園を活用した子育てのための職員配置【こども企画課】						
保護者	市内の私立幼稚園において、長時間の預かり保育を実施する体制を整備することにより、就労支援、子育て支援、待機児童の減少及び幼児教育の振興を図る。	61,874	76,994	[23年度の評価] 市内の私立幼稚園10か所に委託を行った。これにより、月平均77人/10園の「保育に欠ける児童」の長時間預かり保育利用が行われ、待機児童の解消等が促進された。 [24年度の実施計画] 新規5園を含む合計15園に対して、新たな補助制度として実施する予定(拡充)。拡充実施にあたっては、保育に欠ける園児の保育料の引き下げや人数実績等のインセンティブ条件を付加することで幼稚園が体制整備を進めることを促し、さらなる待機児童の解消等を図る。	b	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】					
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		
(81)公民館における子育て支援の推進【生涯学習振興課】					
保護者	各区の中核公民館を中心に運営される子育てサロンにおいて、子育てサポーターや家庭教育アドバイザーが相談に応じることにより、子育てにおける仲間づくりの支援を図る。	606	824	<p>[23年度の評価]</p> 各区中核公民館を中心に、子育てサポーター・家庭教育アドバイザーによる子育てに関する相談の機会を設けるとともに、子育てサークル等の活動支援や新たな子育てサークル結成の支援を行った。 <p>[24年度の実施計画]</p> 各区の子育てサポーターを1人増員し、子育て支援事業の充実を図る。	b

(9) 地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実

24 放課後等の子どもの居場所づくり

小学校の施設等を活用し、放課後等に子どもたちが共に遊び、交流できる場や機会を提供していきます。

達成指標	放課後子ども教室の年間延参加児童数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		127,049人	101,731人	150,000人	174,000人	B-
	地域の大人に挨拶をしたり、話すようになったりした参加児童の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		59.0%	58.9%	60%	60%	B-
	異なる学年の児童と遊ぶようになった参加児童の割合	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
	41.5%	39.9%	42%	45%	B-	
公民館の小・中学生の学習者数(延べ数)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価	
	25,000人	21,800人	25,000人	48,000人	C	

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(82)放課後子ども教室の推進【生涯学習振興課】						
小学生	地域住民などの参画により、さまざまな活動の機会を提供することにより、放課後における児童の安全・安心な居場所を確保する。	15,201	14,864	[23年度の評価] 週1回年間23日程度、全小学校に放課後子ども教室を設置し、放課後の子どもたちの居場所づくりを実施した。 [24年度の実施計画] 引き続き、週1回年間40日程度、全小学校に放課後子ども教室を設置していく予定である。	b	
(83)子どもルームの整備・運営【健全育成課】						
小学生	小学校の空き教室や民間施設等を活用し、子どもルームを整備することにより、就労等で昼間家庭に保護者のいない小学校1～3年生の児童に、放課後における遊びと生活の場の提供を図る。	2,468,306	2,106,925	[23年度の評価] 子どもルームの新設2、増設1、施設改善4を行い、105小学校区118ルームから107小学校区121ルームに増加し、計画通りの整備ができた。 [24年度の実施計画] 新設2(仁戸名小、若松台小)、施設改善2(瑞穂小、高洲小(海浜ルーム))を予定しており、109小学校区123ルームとすることを予定している。	b	
(84)公民館での子どもたちの学習や活動の場の確保【生涯学習振興課】						
小学生 中学生	公民館主催講座のほか、地域やクラブ・サークル等の協力を得て、週末の子どもたち(小・中学生)に学習や活動の場を提供することにより、子どもの居場所づくりの確保を図る。	1,521	1,421	[23年度の評価] 公民館主催による各種少年対象事業(工作教室、料理教室、科学教室等)を実施するとともに、公民館利用団体等による各種体験教室を実施した。 [24年度の実施計画] 引き続き、同種の事業を実施する予定である。	b	
(85)学校体育施設等の活用推進【スポーツ振興課】<計画(70)の再掲>						
子ども	小学校の校庭の開放や、学校体育施設、運動広場の活用により、子どもたちの遊び場の確保を図る。	22,579	25,725	[23年度の評価] 小学校117校の校庭、体育館の開放(対象:登録団体)及び自由開放(対象:市民)、中学校55校の校庭、体育館、中学校武道場11施設の開放及び運動広場(20ヶ所)の開放を実施した。 [24年度の実施計画] 中学校の校庭、体育館開放が新たに1校増える予定である。(なお、学校統合により学校数は減るため、校庭等を開放している学校数は減る見込みである。)	b	
(86)子どもたちの森公園の管理運営【緑政課】<計画(70)の再掲>						
子ども	「子どもたちの森公園」の管理運営により、プレーリーダーや地域の人々の支援の下、子どもたちが自分の責任で様々な遊びを展開できるような環境整備を図る。	5,768	5,691	[23年度の評価] プレーリーダーを2名/日配置、256日開園し、季節のイベントを3回実施した。その結果、13,256人(H24.3末時点)の来園者があった。また、子どもの遊び場として広く普及させるため会報(はつぱだより)やホームページ等により広報を実施した。 [24年度の実施計画] 引き続き、本事業を実施する予定である。	b	

25 地域人材を活用した学校支援

学校外の社会人の指導力を学校教育の場に積極的に活用し、授業や部活動等において専門的な指導を充実させ、学校教育の活性化を図ります。

達成指標	学校・家庭・地域連携によるまちづくり推進事業への参加者数(延べ数)	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		69,000人	71,570人	72,000人	72,000人	A

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】

対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価
		23年度	24年度		

(87)「楽しい教室づくり」の推進(地域人材の活用)

アクションプラン(142)へ事業統合

(88)特別非常勤講師の配置(社会人の活用)【指導課】

児童生徒	免許状は持たない、各分野において優れた知識や技術を有する社会人を、小・中学校に派遣することにより、学校教育の多様化と活性化を図る。	755	755	[23年度の評価] 小規模で音楽専科のいない小学校高学年の音楽指導や伝統文化の研究指定校での教育活動に特別非常勤講師を配置し、成果があがった。 [24年度の実施計画] 優れた知識や技術を有する社会人を派遣し、学校教育の多様化、活性化を図る。	a
------	---	-----	-----	---	---

(89)中学校運動部活動指導者の派遣【保健体育課】<計画(68)の再掲>

中学生	学校で必要とする民間指導者を派遣することにより、中学校の運動部活動において、専門的な指導を十分に受けられる体制整備を図る。	2,976	2,511	[23年度の評価] 中学校の運動部活動において、専門的な指導を十分に受けられるように、学校で必要とする民間指導者を派遣した。 4～5月:希望調査、指導者の推薦・決定。 5月～ :派遣開始35校、60人、15種目(バドミントン・ソフトテニス・野球等)に派遣。アクションプラン(65)と統合。 [24年度の実施計画] 中学校の運動部活動において、専門的な指導を十分に受けられるように、学校で必要とする民間指導者を派遣する。 4～5月:希望調査、指導者の推薦・決定。 5月～ :派遣開始。	b
-----	---	-------	-------	--	---

(90)地域スポーツ人材の活用実践への支援【保健体育課】<計画(69)の再掲>

小学校高学年	体育学習や中学校の運動部活動において、指導の補助ができる地域人材の派遣を行うことにより、運動の楽しさをより深め、体力づくりに積極的に取り組んで行けるような環境整備を図る。	4,090	2,190	[23年度の評価] 子どもたちが運動の楽しさをより深め、体力づくりに積極的に取り組んでいけるよう、小・中学校の体育・保健体育の学習や運動部活動において、指導の補助ができる地域人材の派遣を行った。 小学校:19人(体育学習、陸上・サッカー・バスケットボール) 中学校:36人(サッカー・バドミントン・野球等14種目) [24年度の実施計画] 引き続き6月に希望調査、指導者の推薦・決定をし、7月から派遣開始予定で、同種の事業を実施予定である。	b
--------	---	-------	-------	---	---

(91)学校・家庭・地域連携によるまちづくりの推進【指導課】

子ども	学校・家庭・地域の連携により、各地域の特色ある地域活動を推進することにより、子どもたちの地域に対する愛情の育成を図る。	1,652	1,064	[23年度の評価] 放射能の問題から地域クリーン活動を中止あるいは延期した中学校区もあったが、概ね各地域の実態に応じた活動を実施できた。 [24年度の実施計画] 引き続き、各地域の特色ある活動を通して、児童生徒の地域に対する愛情と誇りをはぐくむ。広報活動等地域へのアピールにより、地域の理解を得て連携を深めていきたい。	b
-----	---	-------	-------	--	---

26 子どもの安全を見守る活動の推進

地域との連携・協力の下、学校セーフティウォッチャーによる子どもたちの登下校の見守り活動やスクールガードアドバイザーの巡回指導を行うなど、地域ぐるみの学校安全体制の整備充実を図ります。

達成指標	学校セーフティウォッチャーの登録者数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		21,000人	23,100人	23,400人	24,000人	A
	こども110番のいえ設置数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		11,700所	10,038所	10,500所	20,000所	C

(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(92)学校セーフティウォッチの推進【学事課】						
児童生徒	学校セーフティウォッチャーによる登下校の安全の見守りや、スクールガードアドバイザーによる巡回指導を実施することにより、子どもたちの登下校時の安全確保を図る。	4,804	1,087	[23年度の評価] スクールガードアドバイザーとの連携や講習会の充実に努め登録者数は23,100人に至った。 [24年度の実施計画] スクールガードアドバイザーとの連携や講習会の充実に努め登録者数のさらなる拡充を図る。 なお、学校セーフティウォッチャーの見守り活動については、保護者や地域の方の協力により、より一層の連携を図る予定である。	a	
(93)「こども110番のいえ」設置の推進【健全育成課】						
児童生徒	緊急避難場所となる「こども110番のいえ」を設置することにより、子どもたちの登下校時の安全確保を図る。	189	205	[23年度の評価] 「こども110番のいえ」に協力していただいている家庭に対して、再度意向確認等を行った結果、11,700件から10,038件に減少したが、新たに登録していただいた家庭もある。 [24年度の実施計画] 各中学校区青少年育成委員会、小学校や中学校PTAも含め、新たな協力家庭を増やすよう努力をしていく。	b	

（10）ルールやマナー意識をはぐくむ交流・連携活動の推進						
27 地域ぐるみによる子どもの健全育成の推進						
学校・家庭・地域・行政が連携して、地域ぐるみによる青少年の健全育成を推進します。						
達成指標	「青少年の日」つながりウィーク地域行事を実施する中学校区数	23年度目標	23年度実績	24年度目標	目標値(27年度)	評価
		50/56校	48/56校	50/56校	56/56校	B+
(計画No.) アクションプラン名 【所管課】						
対象	内 容	予算(単位:千円)		23年度の評価及び24年度の実施計画	評価	
		23年度	24年度			
(94)青少年育成活動の推進【健全育成課】						
青少年	地域における青少年健全育成活動にかかわる機関や団体が、相互の連絡調整を図ることにより、地域ぐるみによる青少年の健全育成活動の更なる推進を図る。	18,099	17,364	[23年度の評価] 各中学校区ごとに、独自の青少年育成活動を展開し、キャンプやスポーツ大会、リーダー研修会の開催や保護者向けの研修会の開催等積極的に活動をした。 [24年度の実施計画] 同様の活動のほかに、青少年育成活動における、地域間の連携や、健全育成課との連携も深めるなど、地域の子ども・若者を支援していく体制を築く。	b	
(94-2)「こどもに信頼される大人」に関する調査研究【こども企画課】						
子ども	こどもの居場所における「こどもに信頼される大人」について、求められるスキルと、人材の育成手法や登用手法等の調査を進めることにより、今後の配置に向けた更なる検討を図る。	83	128	[23年度の評価] こどもカフェのモデル運営を行い、信頼される大人の調査研究を行った。 [24年度の実施計画] 「信頼される大人」の公開講座の開催により人材を育成し、こどもカフェに配置する。	b	
(95)悩みや不安を抱えた青少年への支援【青少年サポートセンター】						
青少年	①問題行動を起こしている児童生徒や少年に対し、サポートチームを組織することにより、立ち直りに向けた支援の充実を図る。 ②児童生徒・少年・保護者・学校などを対象に、来所や電話による相談活動を行うことにより、悩みや不安を抱えた青少年への支援を図る。	3,959	4,004	[23年度の評価] ・立ち直り支援を実施した少年数と来所回数（少年数28名・来所回数898回） ・電話相談件数(401件) ・来所相談件数(258件) 計659件 [24年度の実施計画] 昨年の実績を踏まえ、悩みや不安、問題を抱える少年に対応する専門の非常勤嘱託職員を配置し、立ち直りに向けた支援や相談活動を継続して実施する予定である。 なお、青少年の立ち直り支援を目的とした青少年サポート事業については、平成23年度第3回定例会で答弁しているとおり青少年の居場所づくりの一つとして今後も事業の推進を図る予定である。	b	
(96)補導活動の実施【青少年サポートセンター】						
青少年	民間補導員が青少年サポートセンター所員とともに、各所を巡回しながら、青少年の不良行為に対して愛のひと声をかけることにより、青少年の非行につながる行為の早期発見、防止を図る。	19,023	18,786	[23年度の評価] 1,348回にわたる街頭補導の実施、及び、延べ2,406人の少年を補導した。 [24年度の実施計画] 青少年の非行防止のためにJR千葉駅周辺及び地域の繁華街等を巡回する街頭補導活動を継続して実施する予定である。 なお、非行等の問題への対応については、平成23年度第3回定例会で答弁しているとおり街頭補導等を通じ、千葉県警察少年センターや関係機関・団体との連携をさらに強化し充実させていく予定である。	b	
(97)「青少年の日」「家庭・地域の日」の活動の推進【健全育成課】						
青少年	「青少年の日」等を活用し、青少年が家庭や地域とつながりを持つ機会を積極的に増やす活動を推進することにより、「青少年のコミュニケーション力の育成」や「家庭や地域の教育力の向上」を図る。	1,261	900	[23年度の評価] 9月17日に、生涯学習センターで「青少年の日フェスタ」を実施した。(参加者4,503人) また、「青少年の日」「家庭・地域の日」の周知と関連事業の実施にあたり、庁内関係各課で組織する「青少年の日」及び「家庭・地域の日」事業推進会議を開催し、「青少年の日フェスタ」への事業協力並びに各課の関連事業推進を呼びかけた。 [24年度の実施計画] 9月15日に「青少年の日フェスタ」を実施予定である。その他、昨年と同様の事業を実施予定である。	b	